

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

6 月 1 1 日（木）午前 1 0 時～

1	倉 岡	誠	議員	（ 6 0 分）
2	舘 花	一 仁	議員	（ 6 0 分）
3	田 口	裕	議員	（ 6 0 分）
4	児 玉	悦 朗	議員	（ 6 0 分）

6 月 1 2 日（金）午前 1 0 時～

5	児 玉	政 明	議員	（ 6 0 分）
6	吉 村	ア イ	議員	（ 6 0 分）
7	黒 澤	一 夫	議員	（ 6 0 分）

□質問時間割当表

10:00	11:00	11:10	12:10	13:00	14:00	14:10	15:10
6 月 1 1 日（木）	倉岡 誠 （60 分）	休憩 10 分間	舘花一仁 （60 分）	休 憩	田口 裕 （60 分）	休憩 10 分間	児玉悦朗 （60 分）

10:00	11:00	11:10	12:10	13:00	14:00
6 月 1 2 日（金）	児玉政明 （60 分）	休憩 10 分間	吉村アイ （60 分）	休 憩	黒澤一夫 （60 分）

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No. 1

順位	1	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分	No. 1
質 問 事 項				質 問 要 旨		
1	期日前投票所の増設について			① これまでの各級選挙において、全国的に投票率の低下が懸念されているが、秋田市をはじめ、ショッピングモール等で5自治体が期日前投票所を設け、非常に好評であったと聞く。本市としても投票率向上の観点からも、人の多く集う場所、ショッピングセンター、コモッセ、かつの厚生病院等に設置できないか伺う。		
2	市税等収納率の向上対策について			① 今年度から、収納率向上を図るためコンビニ収納を開始したが、更に利便性を高めるために、郵便局での収納が出来ないか伺う。 ② 先の市税の不適切処理問題を受けて、収納事務の一元化を検討していくとしているが、その後の具体的な取り組み状況を伺う。		
3	鹿角の観光振興について			① 十和田八幡平国立公園が、来年指定 60 周年を迎えるが、特に本市にかかわる八幡平観光は、観光動員数からも観光鹿角の原点であり、その再生を図ることこそが、鹿角の創生を促す上でも最重要課題と考える。八幡平の観光再生計画を策定し、具体的な対策を講ずる必要があると思うがいかがか。		
4	市道改良について			① 消防庁舎完成に伴い、念願の市官庁街が形成され、あらゆる面でその充足が図られることと思うが、それに即応してインフラ整備が必要であると考ええる。先にも質問したが、282 号バイパスの実現見通しが不透明な中において、現国道が今でも時間帯渋滞、高速道路通行止め等により不都合が生じている。万が一通行不能に陥った場合の緊急代替え道路としての重要度が増す市道鏡田高瀬川原幹線の屈曲部の改良、できれば久保田までの直線化が必要と思うがいかがか。		
5	6 次総後期計画策定について			① 来年度からスタートする 6 次総後期計画に際して、前期 5 年の総括をした上での施策形成やプロジェクト創出が行われるものと理解している。市長の 3 期目のスタートに合わせた政治公約の総括・検証と併せ、現在の評価について伺う。		

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No. 2

順位	1	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
6	引きこもり対策について			② 今、策定途上にあることを承知の上で伺う。国が提唱し、各自治体が概ね 10 月頃を目途に策定を進めている「地方創生ビジョン」と 6 次総後期基本計画をどのようにリンクさせ、または区別化して鹿角独自の創生・活性化策を立ち上げようとしているのか伺う。 ① 先にも質問し答弁をいただいているが、それだけでは十分とは言えない。40 代前半や 50 代の引きこもり者が最も多い実態や小中学校で既に引きこもり状態になっている現状を鑑み、複数の専任カウンセラーや非常勤の心療内科医、教員 O B 等の配置により、誰もが利用できる市独自の（仮称）社会復帰支援センターを整備してはどうか伺う。	
7	文化の杜交流館コモッセについて			① 市長の行政報告にもあるように、コモッセを利用拡大しているのは、図書館利用がそのけん引役を担っている様にも見受けられる。他施設部分での継続的な利用拡大に向けた具体策を伺う。	
8	小学校のスポーツ活動の社会体育化について			① 先にも質問し、平成 29 年度に完全移行する旨の答弁をいただいているが、その後の進捗状況と当事者に具体的な内容が示されていないと伺っている。それぞれ種目によって違いがあることは承知しているが、できるだけ詳細を示していただきたいがいかにか。	

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	舘花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 「悲惨なワーストからの脱却を」について					
(1) 自殺率、がん死亡率、脳梗塞死亡率の状況について			① 人口減少率、自殺率、がん死亡率、脳梗塞死亡率など、秋田県はワーストワンや下位という結果になっている。そこで、本市のここ 2～3 年の自殺率、がん死亡率、脳梗塞死亡率の状況についてどのようなになっているのか伺う。		
(2) 若者の自殺について			① 若者の自殺については、大きな社会問題として早急に対策を打つ必要があると指摘されているが、本市の若者の自殺対策として、何か検討しているのか伺う。		
2 雪害・利雪・克雪・楽雪について					
(1) 雪害の状況について			① 去年は、市内で多くの雪害に見舞われたところであるが、空き家や果樹の被害状況をどのように把握されているのか伺う。		
(2) 公共施設への雪冷房システムの導入について			① 他の自治体では、雪を貯蔵し、リンゴの保存あるいは、冷房として活用する事例があるが、本市では公共施設などへの導入を検討したことがあるのか伺う。		
(3) 家庭用融雪器具等への助成について			① 間口や屋根等へ融雪器具などを設置し、ある程度溶かすことによって、除雪の労力を減らすことも考えられるが、リフォーム助成対象の拡大、あるいは新たな制度として創設する考えはないか伺う。		
(4) 冬祭りイベントの創設について			① 冬季間は観光客が落ち込む時期であり、スキー客の減少が著しい状況にある。そこで、冬季観光客のテコ入れのためにも、新たな冬祭りイベントを創設する考えはないか伺う。		

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3 外国人誘客について					
(1) 東南アジア訪問の成果について			① 市長自ら、昨年東南アジアを訪問しているが、その成果をどのように捉えているか伺う。		
(2) 外国人の 119 番通報について			① 外国人からの 119 番通報の年間件数と、その内容について伺う。		
4 投票所について					
(1) 臨時期日前投票所について			① 長野県中野市では、臨時期日前投票所として、午前・午後、各地区を巡回している例もあるが、本市でも廃止した小規模投票所などに実施できないか伺う。		
(2) 選挙事務体制の徹底について			① 入場券発送などの事務処理ミスが発覚しているが、職員個人によるものなのか、事務処理体制によるものなのか、どのように捉えているのか伺う。		
5 東北自動車道を活用した地域振興について					
(1) 湯瀬パーキングエリアの名称変更について			① J R では、湯瀬駅を湯瀬温泉駅に名称を変更したが、湯瀬パーキングエリアも名称変更や、足湯などの施設を設置し、湯瀬温泉と連動したイメージ戦略を図れないか伺う。		
(2) (仮称) 花輪スマートインターチェンジについて			① 救急医療対応として、市役所周辺の (仮称) 花輪スマートインターチェンジを整備し、高速道路上で事故が発生した場合、かづの厚生病院に救急患者を搬送できるような体制を検討できないか伺う。		
(3) 十和田インターチェンジへのトラックターミナル建設について			① 産業振興からの提案として、十和田インターチェンジにトラックターミナルを建設し、高速道路を降りることなく荷物の積み替えをさせることが出来ないか伺う。		

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	2	質問者	舘花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
6 文化の杜交流館について					
(1) コモッセの駐車場について			① コモッセの駐車場については、他の公共施設の駐車場を使用する計画であったが、その計画に問題がなかったのか伺う。		
(2) 商店街との連携について			① コモッセはまちづくりの起爆剤、商店街活性化にもつながるとして市民も期待しているが、商店街との回遊性向上に向けた取り組みなど、要望や提案などがあるのか伺う。		
(3) 学習環境の充実について			① コモッセ内の学習室は、夏休みや冬休みなどには不足する可能性もあることから、花輪市民センターと協力し、会議室や研修室などの開放により、子ども達の学習環境の充実を図れないか伺う。		
(4) 八幡平・尾去沢方面へのバス停の設置について			① コモッセ前に十和田方面へのバス停が設置されているが、八幡平や尾去沢方面についても、コモッセから新町経由をすることで商店街への回遊が生まれ、子ども達の安全な居場所づくりが図られると思うが、市長の見解を伺う。		
7 A E D 設置促進について					
(1) 市内の A E D 設置状況について			① 突然の心肺停止状態で倒れた時、A E D の使用は大変重要である。A E D は公共施設でなければなかなか設置していない状況かと思うが、市内の A E D 設置状況と、人口当たりの設置状況、さらには公共施設以外の設置件数はどのようなになっているか伺う。		

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No. 1

順位	3	質問者	田口 裕	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 地方創生と地域戦略について (1) まちづくりについて				① 国が進めようとしている拠点都市構想、これからこれまでにない人口減少、高齢化社会を迎える時、鹿角をどういうまちにしていけるのか。自分達の住んでいる地域はどうなっていくのか、市の考えを伺う。 ② 鹿角は一カ所に集中したまちではなく、人口 3 万人余りが分散した形態となっている。それぞれの地区の課題や地域づくりにどのように取り組んでいけるのか伺う。 ③ 大型店舗の進出、撤退等、将来に大きな影響を与えるような案件について、行政は市民の意向を把握・調査した上で積極的に関与すべきと思うが、どのようなスタンスで臨んでいるのか。今回の花輪地区の撤退についてどのように考え、取り組んでいるのか伺う。	
(2) 観光戦略について				① 市長の行政報告では、今年のゴールデンウィークの入客数が好転しているとのことだが、鹿角の観光客は、高速道路の開通や新幹線の延伸など、高速体系の変化の度に減少してきている。観光業界の人達にも増えているという実感が伴っていない。実態を踏まえた更なる取り組みが必要と思うがいかがか。 ② 鹿角は情報発信が少なく、認知度はまだまだ低いと思われる。更に旅行エージェントの営業マンの年代が若くなっているなど、対応が必要と思うがいかがか。 ③ 旅行形態の変化に伴い、従来の自然観光だけでは客が呼べなくなっている。「何で客を呼ぶのか」、鹿角ならではの物を作ることが必要と考えるが市の考えを伺う。 ④ 農業、食との連携を中心に異業種連携を図り、新たなメニューづくりをすべきと思うがいかがか。 ⑤ 最近の旅行客の動向を見ると、沿岸部に比べ内陸ルートが弱いと言われる。小坂町との連携はもちろん、内陸部の観光ルート提案を強化すべきと思うが、考えを伺う。	

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	田口 裕	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(3) 再生可能エネルギーへの取り組みについて				⑥ ストーンサークルなど、観光拠点の整備が必要と思うが、考えを伺う。 ① 東日本大震災と福島原発事故発生以降、再生可能エネルギーへの取り組みが各地で盛んに行われているが、鹿角の状況はどうか。新たに事業展開する場合、課題・障害はあるのか伺う。 ② 再生可能エネルギーの発電量が多い鹿角市として地域振興を考えた場合、市が積極的に関わる必要があると思うが、考えを伺う。	
(4) 地元企業への支援について				① 雇用確保のためには、新規の企業誘致は困難な状況になっている。地元企業の育成・増産による雇用拡大がより現実的である。産学官連携による製品開発・改善が必要になっている。その取り組みをすべきと考えるが、市の考えを伺う。 ② 市の専門担当者が育っていないので、長い期間をかけた産業育成や改善が行われていない。様々な地元産業を結びつけた製品開発や、高付加価値化を進めることのできる専門家（コーディネーター）を外部から招いたらどうか伺う。	
(5) 大湯ストーンサークルについて				① 縄文遺跡群世界遺産登録に向けた大事な時であるが、地域の盛り上げに欠けていると思う。現在の進捗状況及び登録の可能性はどういう状況か。登録に向けた情報発信と地元の機運醸成に取り組めないか伺う。	
2 市有主要施設の利活用について				① ここ数年、大規模な公共施設の新築が相次いでいるが、既存の主要施設の利用状況はどうか。課題のある所はないか伺う。 ② 柴内保育園の再利用はどのように考えているか伺う。	

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1		鹿角市農業構造改革ビジョン (平成 27 年 3 月) について	① 鹿角市農業構造改革ビジョン策定の要旨、農業構造改革の必要性について伺う。		
			② 目指すべき農家個々の所得金額はいくらに設定され、また、現状の所得との差額をどのように改善するのか、具体的な改善策を伺う。		
			③ 生産重視型農業から販売重視型農業へ構造改革をしていくとあるが、どのような形で改革していくのか伺う。		
			④ 有機栽培による農作物づくりを進めるとあるが、どのように進めるのか。また、有機栽培の実績があるのか伺う。		
			⑤ 鹿角市農業構造改革ビジョンが具体的に進められていく中で、行政として、どのように関わっていくのか、今後のスケジュールを伺う。		
			⑥ 農地中間管理機構の設立によって農地集積が進んでいると思うが、平成 26 年産米の米価下落によって、認定農業者の経営や農地集積事業への影響がないか伺う。		
			⑦ 認定農業者の増加策は進んでいるのか。また、農地集積の現状をどのように捉えているのか伺う。		
			⑧ 新規就農者の増加策を伺う。		
2		特産作物の振興策について	① 水田利活用の状況として、平成 27 年度の主食用米の作付け状況はどのようなになっているのか。また、淡雪こまちの作付け面積が拡大されていないように思うが、原因はどこにあると分析しているのか伺う。		

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3		雪害対策について	② 耕作放棄地対策として進めてきた「そばの里鹿角」の今後の見通しを伺う。 ③ 本市の特産の北限の桃、淡雪こまち、そばの里に投入された本市補助金、助成金はいくらなのか、また、その投入の効果と今後の展望を伺う。 ④ 鹿角市のさらなる農業振興策として花卉、山菜、薬用野菜、温泉を利用した冬期間栽培などの可能性、将来性について伺う。 ⑤ 本市野菜の生産拡大のための助成策として、野菜苗に対しての助成や、運賃が生産者の大きな負担になっているため、この部分に助成することが効果的と考えるがいかがか。 ⑥ 6次産業化の進捗状況と対策について、市長の見解を伺う。 ⑦ 葛飾区でかつの農産物フェアを開催してはいかがか。		
			① 果樹雪害、果樹凍害対策の苗の購入費用を全額補助にすることはできないか。雪害・凍害対策はとられているのか伺う。		

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 地方創生の取り組みについて (1) 後期基本計画と地方版総合戦略の策定について			① 第 6 次総合計画の基本構想を基にした前期基本計画は、どのように後期基本計画や地方版総合戦略の策定につなげていくのか。継続する目標や改善する目標など、現時点での市長の考え方を伺う。 ② 地方版総合戦略の策定に伴い、人口減少を食い止めるためには、地方の雇用機会を増加させることが重要であると思うが、市長の考える雇用対策施策について伺う。 ③ 人口減少対策として、若年層が求めている知識集約型の職種の創出、誘致が有効と考えるが、若年層を引き付けるためのこれまでの取り組みや今後の展開について、市長の考えを伺う。 ④ 人口減少と少子高齢化に対応し、多様な世代がまちなかに住めるようなコンパクトなまちづくりについて、市長の考えを伺う。		
2 農畜産業の振興について (1) 農業構造改革ビジョンについて (2) 乾田直播について (3) 果樹の雪対策について			① 鹿角市農業構造改革ビジョンにおいて、生産重視の農業構造から販売重視の農業構造へ改革となるが、鹿角ブランドの農産物を販売重視型農業へ取り組む方法について、考えを伺う。 ① 春作業の省力化やコストの削減が有効と思われる乾田直播について、現在の取り組み状況と今後の取り組み、栽培の可能性について伺う。 ① 果樹の雪対策として、今冬のような大雪が今後毎年降ることを想定して、枝折れ、幹折れの被害が出ないようにあらゆる対策を講じる必要があると思うが、考えを伺う。		

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(4) 畜産経営の推進について			① 高齢化や後継者不足により、飼養農家数は減少傾向にあるが、肉用牛繁殖農家の 1 戸あたりの平均飼養頭数と、経営主体の状況について伺う。 ② 効率的な畜産経営を図るため、法人化や協業化、集落営農での取り組みといった、収益力向上に取り組む地域ぐるみの体制を構築する必要があると考えるが、当局の見解を伺う。 ③ W C S の作付状況と、作付けが進まない理由、畜産農家との連携による今後の取り組みについて考えを伺う。		
3 学校の規模適正化と少子化に対応した教育について			① 小中学校再編の素案については、すでに出来上がっていることと思うが、提案の時期がまだということであれば、いつの時点で提案となるのか。また、素案の方向性と学校の適正規模、適正数について考えを伺う。 ② 少子化に対応した教育について、こういった考え方で進めて行くのか伺う。 ③ 就学指定校の変更手続きをして、指定校以外に通学している小中学生の人数と、主な理由について伺う。 ④ 子ども達がやりたいと思う部活動がない場合における、就学校の変更に対する考え方を伺う。		
4 文化の杜交流館コモッセについて			① 生涯学習課と花輪市民センターの職員が業務で利用している事務室が大変狭く、業務に支障をきたすのではないかと心配されるが、現在の状況と今後の改善策等の考えはないか伺う。		

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

No.3

順位	5	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
5 花輪スキー場のジャンプ台施設管理について				① 夏場のトレーニングにおける、ジャンプ台の整備状況があまりよろしくないとの指摘があるが、施設の状況を把握しているのか、また、今後の改善に向けた取り組みについて伺う。	
6 ドローンの対応について				① 空の産業革命といわれるドローンについては、あらゆる分野に影響を広げているが、本市においてドローンを活用する場合の活用例や、飛行への規制等、どのようなことが考えられるのか伺う。	

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No. 1

No. 1					
順位	6	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 市職員の課長相当職以上の女性職員登用率について 2 鹿角市植樹祭での大湯環状列石周辺への植樹の今後の計画について 3 鹿角市の観光施設のトイレについて 4 日本遺産について				① 平成 26 年度は 4 人で、登用率が 10％であったが、今年度は何人で何％であったか伺う。	
				② 内閣府の調査によると、平成 23 年度の登用率は 10. 4％で毎年 1 ％比率が延び、平成 26 年度は 13. 1％となっている。市と比較してどう考えるか伺う。	
				③ 管理・監督職への登用率の平成 27 年度目標値 30％は達成したか伺う。	
				① 大湯環状列石周辺への植樹は、何年で何本になっているのか。そして、今後の植樹の計画について伺う。	
				② 植樹後の木の手入れは、どこでどのように行っているのか伺う。	
				③ 大湯環状列石内の桜の木の状態が良くないとの声があるが、手入れはどこで行っているのか伺う。	
				① 史跡尾去沢鉱山と、道の駅あんたらあのトイレを最新式のウォシュレット式に改修する計画はないか伺う。	
				② 公共トイレの快適さを求めて、国は検討会を設置した。女性の観光客に好感を持たれるトイレがあれば、口コミで観光客増につながると思うため、早急に改修することを要望するがいかがか。	
				① 今年度、国では「日本遺産」の認定の申込みを受け付け、全国で 83 件の提出があり、その内 18 件が認定された。秋田県では 1 件も提出がなかったとのことだが、鹿角市は「地域型（単一の市町村内でストーリーが完結）」タイプが当てはまり、日本遺産に認定できると思う。	

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
5 ふるさと納税について				以下、鹿角市の場合を提案する。 ・ 1300 年の歴史を誇る史跡尾去沢鉱山（伝説の「光る怪鳥」） ・ 鉱山の繁栄により栄えた国登録有形文化財渡部家と旧関善酒店 ・ 国指定重要無形文化財花輪祭の屋台行事等々 以上、日本遺産に認定される条件の「地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリー」を満たしている伝統文化は鹿角市内にたくさんある。 今後、国（文化庁）では、100 件の認定を予定しているという。鹿角を全国に発信するため、日本遺産への提出を検討していただけないか伺う。 ① 2014 年度の秋田県と県内 25 市町村へのふるさと納税の件数と寄付額が発表された。本市の今年度の取り組みを伺う。	

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No. 1

順位	7	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1			文化の杜交流館コモッセのオープンと今後の利用促進について	① 図書館、文化ホール、子ども未来センター等の複合施設としてオープンしたが、建設に向けての経緯と心情、併せて、遠く離れている市民の今後の利用促進に向けての取り組みについて、市長へ伺う。	
				② 本市を表現する施設として、また、市民活動の成果を発表する場としてのコモッセと、市街地を活性化するための一つの核としての期待もある。今後、このことへの対応について、いかが展開するものか伺う。	
2			地方創生戦略への取り組みと雇用の場の確保対策について	① 「まち、ひと、しごと」を創生する方策を立てるための組織、人材の確保は十分となっているか。	
				② 結婚、出産、子育て、さらに教育環境の整備について、経済的な支援、制度のありようについて伺う。	
				③ 市有施設の無償利用や開放について考えているか伺う。	
				④ 地場産業の育成、競争力の強化と雇用の場の確保対策について伺う。	
				⑤ 企業誘致への積極的な取り組みと、関係する団体や人とのつながりを十分生かすべきと考えるが、いかがか。	
3			J R 鹿角花輪駅前の整備と花輪のまちなか活性化への取り組みについて	① 交通の拠点としての駅前整備を進めるにあたり、J R との用地交渉の経過について伺う。	
				② 駅前商店街とまち通り商店街の連携は十分機能しているのか伺う。	
				③ コモッセを活用した商店街活性化対策について伺う。	

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	7	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
4	教育行政について		④ 秋田銀行前交差点から民俗資料室、森内商店前までの一方通行を相互通行へ変更すれば、現状より利便性が高まるのではないかと考えるが、いかがか。 ① 国において公立小中学校の統廃合に関する手引き案が示されているが、このことについて市の対応を伺う。 ② 高等学校においても、県内全域にわたり統廃合が進められている。市内 2 校の存続を私は望むが、市の考えを伺う。		
5	尾去沢地域の活性化への取り組みについて		① 水晶山市営住宅が廃止され、自治会一つと地域住民が少なくなり、近隣住民は残念との思いがある。当地域が元気なよう対策を講ずるとしてしたが、その取り組みについて伺う。 ② 長い歴史を持つ尾去沢鉱山の関連した会社と協調した工場の誘致、働く場所の確保対策について、これまでの取り組みと今後について伺う。 ③ 鹿角高等職業訓練校が花輪地区へ移転予定となっており、この地域はさらにさびれるのではと心配する声も多く聞かれる。心安らぐ施策を講ずるべきと考えるがいかがか。		
6	産業の振興について		① 観光地としての鹿角と近隣観光地と連携した観光地づくりが大切と考えるが、取り組みはどのようなになっているか伺う。 ② 特産品があるということは、観光産業だけでなく、本市としても発展の素材になるものと思う。鹿角短角牛や北限の桃等、それぞれ生産増強への取り組みについて伺う。		

平成 27 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	7	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
7 郷土芸能の保存と伝承への取り組みについて			③ 農林業の就業者はその多くが 60 歳代から 70 歳代となっている。農業生産額を高め、若者の働く場としての農業の振興について、様々な施策、対応を講ずべきと考えるが、どのように取り組みを行っているものか伺う。 ① 毎年コモッセを会場として、市内各地に伝わる伝統芸能を保存会の皆様から演じていただき、永く伝承するよう、その取り組みを期待するが、いかがか。		